

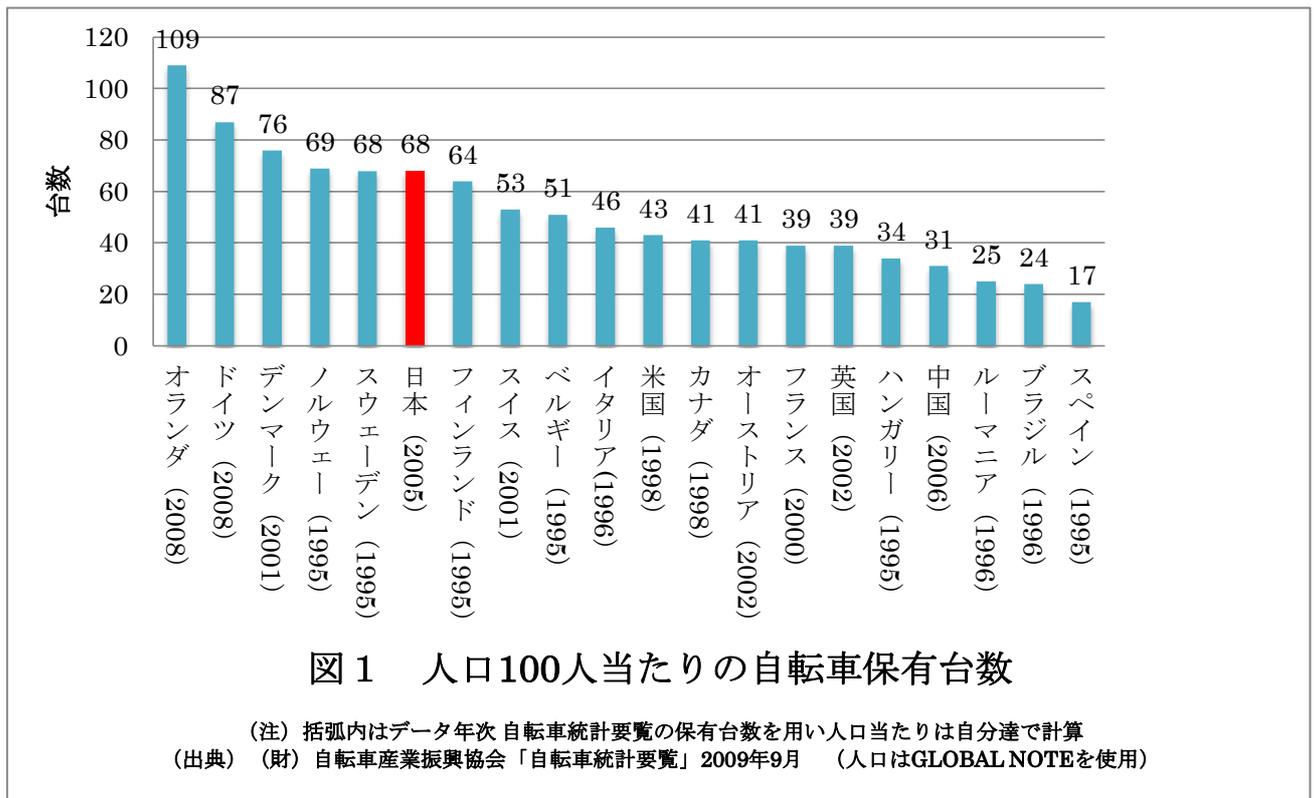
日本におけるサイクリングの可能性

同志社大学 庄子ゼミ スポーツビジネス B チーム

有永 和樹 ○出口 知弘 飯島 啓斗 岡村 綺乃 上地 征弥

1. 緒言

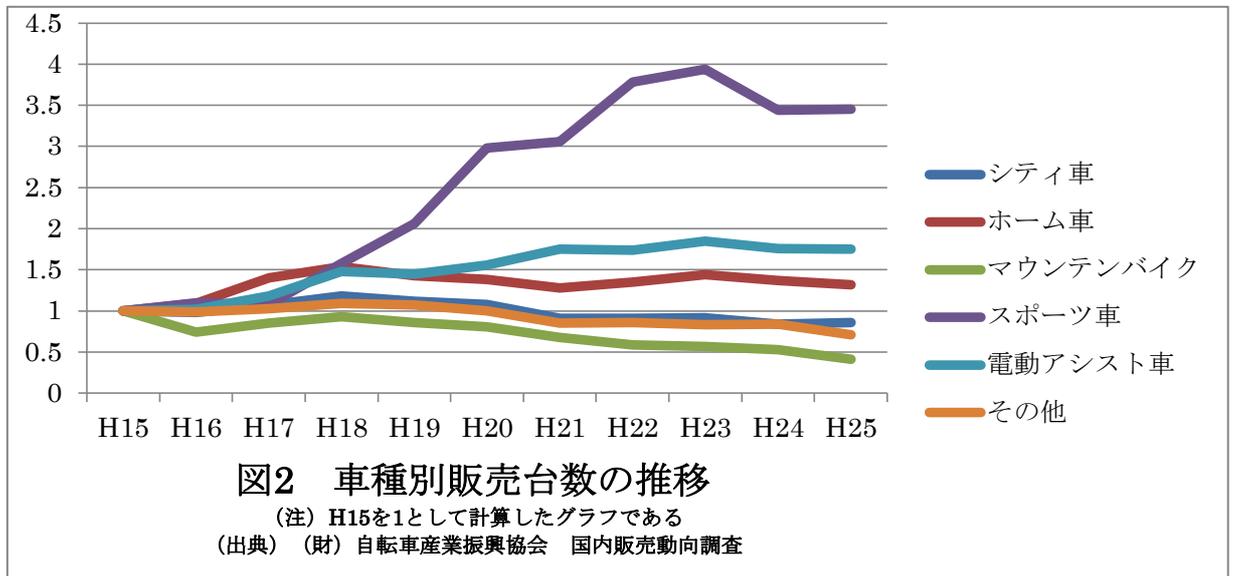
我が国において自転車は古くから人々の生活と結びついており、生活の一端を担っている。大多数の日本人は子供の頃に親から自転車の乗り方を教えてもらうのではないだろうか？また図1を見て分かるように日本は世界有数の自転車保有国だ。しかし我が国で自転車は移動手段としか考えられておらず、スポーツと捉える人は少ない。欧州で自転車はサッカーに並ぶスポーツとして絶大な人気を誇っている。ではなぜ自転車という文化があるにも関わらず我が国においてはスポーツとして認知されていないのか。私たちはその原因の一端に自転車が走る環境、またその周辺に問題があると考えた。



2. 現状

図2を見て分かる通り、平成18年からスポーツ自転車部門において販売台数が大きく伸びている。このスポーツ車数増加の背景には健康増進や生涯スポーツとしての自転車を考

える人たちが購入していると考えられる。また最近は高校の自転車競技部を題材とした漫画も注目されており、現在我が国には自転車ブームが来ていると言えるかもしれない。



しかし我が国におけるスポーツ自転車市場が右上がりの傾向であっても、自転車が走る環境は満足に整備されているとは言えない。

3. 目的

私たちはこの現状を見て、自転車市場は今後も伸びる可能性があり、自転車が今まで以上にスポーツとして広まっていく可能性があると考えた。しかし今のままでは自転車が売れたからといって、スポーツとして我が国に根付くとは思えない。サイクリストから求められるサービスを行い、なおかつ自転車で走りたいと思えるような走行空間を創ることが必要となってくる。そこで私たちは理想的な自転車道とはなにかを調査し、提言する。

4. 研究方法・結果

(1) しまなみ海道の文献調査

しまなみ海道とは広島県尾道市と愛媛県今治市をつなぐ全長 70km の自転車道のことである。国内外で知名度が高く、日本の自転車道の代表的成功例とも言える。自転車道の先駆的事例であるしまなみ海道を調査することで自転車道普及のためのビジネスモデルの参考材料とする。

・台湾自転車メーカーGIANTとの提携	・初心者から熟練者まで楽しめるコース
・レンタサイクル環境の充実	・全区間にブルーライン
・サイクリスト向けの設備が充実	・イベントやツアーの実施
・多言語表記	・良好な景観

表 1 はしまなみ海道の主な成功要因だ。しまなみ海道は 2012 年に台湾の世界的自転車メー

カーGIANT社とタイアップし、世界への情報発信を行った。その後も海外へのプロモーションを積極的に行い、英語や中国語、韓国語のマップを用意することでインバウンドに対応する環境整備が行われている。(Clair Inbound Library,2015)他にもレンタサイクルのターミナルが至る所にあり、乗り捨ても自由なので、個人の体力に合わせて観光することができ、コースのほぼ全域にブルーラインが引いてあることから、コースの途中で迷子になることを防止している。(北海道開発局開発調査課,2013)これらの施策のおかげで、広島県尾道市の観光統計によると、2014年に尾道市を訪れた観光客数のうちサイクリング客・外国人観光客ともに前年度に対して40%以上増加している。

(2) 台湾現地調査

実際に台湾の日月潭に行き、自転車道の環境整備について調査を行った。日月潭とは1周約30kmの湖で、一部自転車道が整備されている。景観や受け入れ態勢は世界屈指で、年間70万人以上の自転車愛好家が訪れている。ここでも前述の自転車メーカーGIANTが店舗を構えており、湖周辺の地図も中国語は勿論、日本語、英語、韓国語の地図も無料で配布されていた。また、万が一自転車トラブルが生じた場合は店に電話することによって対応してくれる。しまなみ海道同様、海外であってもこのようにサイクリストに対する環境を整備することがサイクリングを広めることにおいて非常に重要であるということが分かった。

(3) サイクリストに対するアンケート調査

調査場所：八幡木津川自転車道起点(嵐山公園)・ながれ橋休憩所

表2の内容について「必要ない」から「絶対必要」までを5段階に分けて回答してもらった。

表2 自転車道に欲しいと思うサービス	
・トラブルに対処してくれるサービス	・道案内用の路面表示(色付きラインなど)
・夏の除草作業(頻繁に)	・休憩所
・自転車配送サービス	・コース詳細・地図
・レンタサイクル	・スポーツ自転車用の駐輪場
・売店や自動販売機	・広い道幅
・シャワー	・カフェ
・ロッカー	・清潔なトイレ
・標識(注意喚起など)	・宿泊施設
・街頭	・名所(景観・写真スポット)

配布数	回収数	有効回答数
133	127	125

アンケート結果を性差、年齢、自転車に乗る頻度、目的別に見てみたが、どのグループで

も意見がほとんど一致していた。まず自転車道に欲しいと思うサービスだが、売店・自動販売機、休憩所、スポーツ自転車用の駐輪場(ラック)、清潔なトイレの設置を望む意見が大多数を占めていた。逆に必要ないとされたサービスは、シャワー、ロッカー、自転車配送サービス、レンタサイクルといったサービスであった。

5. 提言

私達はしまなみ海道の調査結果から自転車道におけるビジネスモデルやサイクリストのニーズを知り、台湾現地調査から海外の観光地での成功例を学び、アンケート調査によってサイクリストの生の声を聴くことができた。以上の調査結果を考察した結果、サイクリングを日本に根付かせ、スポーツとして行うにはまず環境の整備が大事だということを学んだ。私たちはその環境整備を「日本サイクリング増進プラン」と名付け提言する。

(1)自転車道における環境整備

(ア)全国の自転車道にしまなみ海道と同じような道案内用の路面標示を行う。全国共通にすることによってサイクリストがどの土地に行ってもストレスなく走ることができ、なおかつこれから始める人にとっても道に迷う心配がなくなるので走りやすい。

(イ)スポーツ自転車用の駐輪場や休憩所を造る。スポーツ車用のラックを設置することによって盗難のリスクを下げ、また休憩所がサイクリストのコミュニティの場となる。

(2)自転車道以外における環境整備

多言語の地図や案内を用意することによってインバウンドに対応する。また、トラブルに対処するサービスやレンタサイクルがあると初心者でも安心してサイクリングが行える。

6. まとめ

アンケート調査によって自転車に乗る理由は「健康のため」と答えた人が多数いた。また自転車は体への負担が少ないことから生涯スポーツとしても有望だ。さらに 2020 年東京オリンピックや、今後のインバウンドを見据えた自転車の環境創りを行えば、国内外からサイクリストを呼び込むことも可能である。

<参考文献>

Clair Inbound Library, 2015 年 3 月 5 日

<http://clair-inbound.net/shimanami/>

北海道開発局開発調査課 2013

http://www.hkd.mlit.go.jp/topics/toukei/chousa/h25keikaku/h25_001.pdf

広島県尾道市観光統計平成 27 年版

http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/open_imgs/info/0000030066.xlsx

(財)自転車産業振興協会 自転車統計要覧 2009 年 9 月

国内販売動向調査